

# 生徒の感想

数学と理科。「文系」「理系」と言われるように、数学と理科は同じ分類にするのは知っていたものの、組み合わせた授業は今までになく、とても新鮮であった。

組み合わせる、例えば実験をし、その結果から数学の思考で答えを導いていくというスタイルだ。

最初にこの企画を聞いた時は、難しそうだと思うとまじり気持ちもあったものの、実際やってみると、やや誤差はあったけれど、真実の結果が出てきて記憶にも残りやすく、分かりやすかった。

そして、今回感じたのは、「グラフにする大切さ」であった。

数値だけで考えるのではなく、方眼用紙を使ってグラフにしたり、イメージ図をかくことにより、導かれるものもあり、有効活用できたのではないかなと思う。

私たちの学年から入試制度が変わると言われている。記述が確実に多くなることは、理論を立てて説明するのも必要になってくる。今回、相手に伝えるように説明する難しさを痛感し、これからの課題となりそうだ。

この特別授業は、私たちが今後大学入試に向けて対策すべきことの基礎になった気がする。

また、1科目だけでなく、組み合わせた授業をやりたい。

取り組む内容は普段の代数より難しくはないが、

"班で頑張る"と"自分の考えを持つ"と

普段家で勉強しない、学べないこと、大学入試では

問われない、"は、"と書いて

大学の入試制度が変化するのを知っています、

どうして？ さん、特に深く考えたこと、

私は元々、自分の考えを持つことはできるけど、

それを自信を持って、"これがいい！"と人に言うことを

するのは苦手です。

それがいいと言うのが怖くて、

でも、今回のコンセプトは、

"失敗成功どちらでも、自分の意見をもち、他人に伝えている"

というところだったので、授業が始まりました。

結構安心していました。

実数はそのレベル、

皆が考えるので、中には良いところ、

嫌いなところ、悩みのところ、

もっと他に考えはないか、と新しいアイデアを常に考えるように

していました。

この勉強はテストには出ないかもしれないけど、

社会に出たら、絶対に

使う機会もあると思います。

大学入試を見据えたこのような授業は中高一貫校の強み

ですが、

自分の力で色々考えるのは大変だし、痛感しています。

理科以外で実験するのは初めての経験でとてもおもしろかった。職員と協力して  
答えを求め合ったり議論をすることで「生きた」として有意義な時間になったと思ってる。  
こういう情報を目撃して出すというのは新鮮で、慣れないこともあった。  
わかったと思ってる。

和歌山の代から入試制度が変わるというのは耳にしたことはありますが「まじまじと」  
知るのは具体的にどうなるのか。今回の大学受験の勉強のやり方を変えるという  
ことは、どうやっていいのかわからないことを教えてくれることだね。  
たまたま「 $\frac{1}{2}$ から  $\frac{1}{4}$ までは  $\frac{1}{2}$ 」と言わなければならない。

この中で、この方が  $\frac{1}{2}$  を  $\frac{1}{4}$  としていたのは本当におかしいから。  
それと同時に、教科書を見て、この問題で「 $\frac{1}{2}$ 」は「 $\frac{1}{4}$ 」  
即ち  $\frac{1}{2}$  を  $\frac{1}{4}$  として「意味がわからない」と改め気になった。

本当にどうなるか予想も生けない大学受験だね。また「先のこと」に  
今からどうなるかと思ってる。

数学と理科の融合した問題に始めて触れた。  
どこどこか聞かなくて困った。  
でも、色々なことを考えながら仮説を立てるのはおもしろかった。  
この経験を将来に生かしていきたい。

とても難しい！と思っちゃった。  
最初の4問は特に頭が回っていても、言葉で表せない  
かかっているとは言えないんだなあと感じました。  
実験をしてグラフを書き、その点が一直線上に並んだのは  
とても嬉しかったです。

実験1の結果から水中に物体を沈めたとき、沈めた物体の体積だけ  
重さが増えることが分かったので、実験2でも同じ結果になるはずだ  
と思いましたが、そうはならなかった。原因の一つに測った体積が正確でなかつた  
ことが挙げられると思う。しかしある程度グラフを作ることができたのは  
何か規則があるからではないかと思う。今回の実験で「正確に実験する  
ことがいかに大切かを知った。